寺崎組新聞

第百十四号

ついにリベンジ完了！2年がかりの森組会

第146回組会報告

1日目

村松岡の森塾参加レポート（ブログからの抜粋）

寺崎組は年4回のツーリングと2回の宴会が年間スケジュールとして計画されています。毎年3月は遠州地方での開催ですので地元の自分は毎回参加しています。東北で行われているのにはいまだ参加した事がありません。今年は森町のスーパーに12時集合。関西、関東と遠方から参加の人もいます。事前に出欠をとっている訳ではないので集合するまで誰が来るのか、何人集まるのか分かりません。ちなみに私の会員番号は236番なのでひょっとしたら100人以上集まってしまう可能性だって無い訳ではありません。

昼食をとったり給油をしたりくだらない話をしたりしながら13時まで待つと三々五々、合計9名が集まりました。（編集部注　今回の参加者は組長　WR250F以下、筆者の村松岡　Raid、アベ　KLX125、地下鉄　LC-4E、赤貧　CRF250、カバ　KLX250改、オガタ　DJEBEL、ゴ三浦　DR250S改、三浦2号　XR650）今回はこのスーパーで買出しも済ませて行く事になりました。大量の酒やら水やら食料をザックに詰め込みやっと出発になりました。この時点ではまだ誰も行き先を知りません。

道程転んでケガをしたり大事な酒瓶を割ってしまったりすると楽しくありませんので、林道は安全なペースで走行します。分岐では後続が揃うまで待っていてくれるので、初めての道でもはぐれてしまう事はありません。今回は最初からややハードな凸凹道だったので、ほんの少し走った後で作戦会議。もう少し先へ行くか、この辺で宿地を探すか？集合場所まで既に200キロ以上走って来た人が多いので今日はもうこの辺で、という結論に落ち着きました。まだ3時にもなっていません・・。

宴会主催者は私の知る限りでは日本で一番林道に詳しい人間です。というよりも、林道に付随する広場や水場、ガソリンスタンドやスーパー、コンビニなどの情報量の多さでいえば、多分間違いなく唯一無二。集合地点からさほど遠くない林道の枝道を少し入った所に、9人分のテントを張るには十分なスペースの広場を案内してくれました。人目につかず、出来る限り構造物がない空が開けたぬかるんでいない場所。欲を言えば眺めが良いと最高の宿地になります。

寝床が決まれば各自黙々とテントを張り始めます。地面の整地をしっかりすると寝心地も違ってくるので気を使いたい所ですが、全員揃っての乾杯の時間が迫ってくると設営が雑になってしまいます。北枕にならない様にしたいのですが、北が分かりません・・。旅なれた人のテントを見るといつでもキッチリ仕上がっています。ラウンドシートはピンと張ったフライシートの内側に収まっています。雨の時に差が出ます。

2日目キャンプ地（すでに牧野石油は出勤済）

さてひと通り準備が済んでジャージに着替えたところで乾杯。林道を走る事よりも、コッチの方にウェイトを置いている人がほとんどです。スーパーで買い込んだ食材で各自が調理して廻します。出来合いの物でも構いませんが、ひと手間加えた方が美味しければひと手間加えた方がいいという考えです。高級食材を使うよりも消費期限が迫った見切り品を美味しく仕上げると、その人の評価がUPします。本物のビールを飲むのには少し勇気が必要です。「オー、リッチ！」などと言われる事もあるからです。そんな事言われても気にする必要はありません。好きなようにやればいいのです。アルコール度数は「パーセント」ではなく「馬力」で表します。「このチューハイは7馬力のクセに薄いなぁ」みたいに・・。350mlの缶を買います。500はあまり買いません。500は収納にかさばるのと飲んでいる途中でぬるくなるからというのが理由なのですが、ぬるくなるほど時間をかけて飲んでいる人は見た事ありません。ですので350でも500でも自由です。好きなようにやればいいのです。実はイロイロと掟があって面倒臭そうという声を聞いたことがありましたが、私の感じる限りその様な事はなく、「楽しい」が基本なので機会があったら是非参加してみて下さい。日本酒も好まれます。高い酒よりも4合で千円以下の純米酒が好まれます。成分表に書いてある醸造アルコールという文字に過敏に反応します。あとは楽しく騒ぐだけです。迷惑を被る民家もありません。

2日目の焚火　相変わらずの自動車屋2人

毎回気分の優れない夜明けを迎えるのは私だけなのかもしれませんが、あればあるだけ飲んでしまうので仕方ありません。鍋の中身の残骸を、こみあげてくるものをおさえながら片付けをし、次々に起きてくる他の人々と朝の挨拶を交わす中、昨夜の消えた記憶の糸口を探しあうのです。ああ言っただの、こう言ったといっただのという事をあとからほじくり返す様な人はいません。皆さん大人です。

本日は途中で帰る人3人、来る人1人、私はもう1泊の予定です。通常2泊です。今日来る人には、この場所の座標だけは昨夜メール送信しておきました。道を言葉で伝えるのは苦手です。食事や脱糞、一連の撤収作業を済ませた頃、合流の1人がこの場所を探し当てました。さすがに一人旅する人は自己完結型なのでしょうね。午前9時、2日目の旅の始まりです。

2日目

参加者　三浦2号　赤貧　ゴ三浦　アベ　カバ　オガタ　村松岡　組長　地下鉄　山田　ゴ三浦地下鉄

私が来たところで全員の記念写真を撮影し、2日目の林道ツーリングがスタートです。要領がよく分からないので後ろの方を走らせて頂こうかと思っていると、「組長の後に続いて」とのことで、2番目を走らせていただきます。後ろから寺崎勉氏の走りをまじまじと拝見できただけでも、参加してよかったと感激しながら進みます。途中、組長が左の岩場をチラチラと見ていて停止。写真でも撮られるのかと思いきや、湧水から飲料水の補給タイムでした。汲めるところで、水を確保しておくようです。その間に、寺崎勉氏のバイクを拝見。YAMAHA WR250Fです。ビッグタンク等、ツーリング仕様に所々モディファイされていますゾ。タイヤはピレリMT21だったかと。キャリア無しでも、荷物の積み方はビシッとされていて、流石は長年のキャリアを感じるところです。

林道を何本か走ってコンビニ休憩。人が集まる道の駅には寄りませんが、コンビニには入るようです。（編集部注　昨日泊まった者達に今日の昼食用買い出しを頼まれていたため）トライアル車に乗る方に声を掛けられました。以前、寺崎組と走ったことがあるそうです。（編集部注　走ったことはありませんがガス欠しそうになって助けてもらいました）色々と、世間は狭いですね（笑）。

通る林道も行き先も、先頭の寺崎氏のみぞ知るという感じで、何本かの林道を走り継いで昼食です。地元の私よりも、いい場所を案内していただけるとは流石です。ストーブは、ガソリンのホエーブス、カセットコンロ、ガスストーブを使用する方と様々でした。ただの素ラーメンではなく、何かしら野菜等を切って入れていたのが印象的。

山を降り、更に数本の林道を走り継いで舗装路へ出ました。夜宴用の酒と食材を買い出しに向かっていると思われますが、静岡県から愛知県に入り、どんどん北上していきます。翌朝一に帰宅しなくてはならない自分としては、なるべく北上しないで欲しいと願うばかり。ちょっと奥まった所にスーパーがありました。色んな場所に馴染みのスーパーを確保されているようです。浜松市某所の遠鉄スーパーでの買い出しを想定していた私の献立予定が狂いました。浜松産新玉ネギ、浜松餃子、カツオブロックなんてものはココにはありません。仕方ないので、北海道産玉ネギ、シソ入り餃子、鯵を2尾、モヤシ、酒類等を購入。リヤボックスに引っ掛かって林道は走りにくくとサイドバックにあまり空きスペースが無いので、いつものデイパックに詰め込んで宿営地を目指します。が、膨らんだデイパックがリヤボックスいです。組長は、どんなガレ場も登りもシッティング走行です。大きなリュックをリヤの荷物の上に乗せて安定した綺麗なフォームで走られます。噂通り、無駄のない走りですね。速くもなく遅くもなく、常にキープレフトでスムーズ運転。参考にさせていただきます。

再び静岡県側の林道を数本走り継ぎ、ようやく宿営地に到着。早速ビールを呑みたいところですが、まずは各自テントの設営。薪を拾い集めたところで、宿営地にお神酒を捧げ、乾杯。焚き火を囲んで、各自が料理を作ります。私は、玉ネギスライスサラダ、鰺の刺身、茹でもやし、焼き餃子を作りました。そうこうしている内に、各組員さんが作った料理がドンドン回されてきます。回転式居酒屋ですな。これはいいシステムだと思いました。中でも、寺崎組長作のヒジキと鶏肉料理は美味しかったですね。（編集部注　本当は赤貧氏作でした）焚き火氏のキャベツと豚肉の炒め物も美味でした。その後も、焚き火を囲んで酒は更に進みます。皆さんの自己紹介と質問タイムも盛り上がりました。暗くなるとヘッドライトは必需品。私以外は全員青っ白いLED球でした。私のは昔釣りに使っていたホノボノ球で、昭和のヘッドライトなどとウケてましたねぇ（^^）一人、また一人とテントに就寝に。私も明朝に備え、23時頃にはテントに入りました。真夜中の3時過ぎ、外で野生動物の鳴き声と、近くで微妙な物音が！？ちょっと怖くて、テントのジッパーを開けられませんでしたヨ。

朝7時半の開店に間に合わせるため、遅くても5時半には出発しなくてはなりません。4時半過ぎからコッソリ、ゴソゴソとテントと散らかったままの調理道具を片付けます。その後に組長が起きられ、朝から焚き火の後始末？をされていました。なんとか5時40分に現地発、7時前に自宅に帰ることができました。装備、調理等、色々と考えさせられた1．5日間でした。参加の皆様、お疲れ様でした＆ありがとうございました。

（終）

牧野石油ご苦労様です。給油に来てね。